

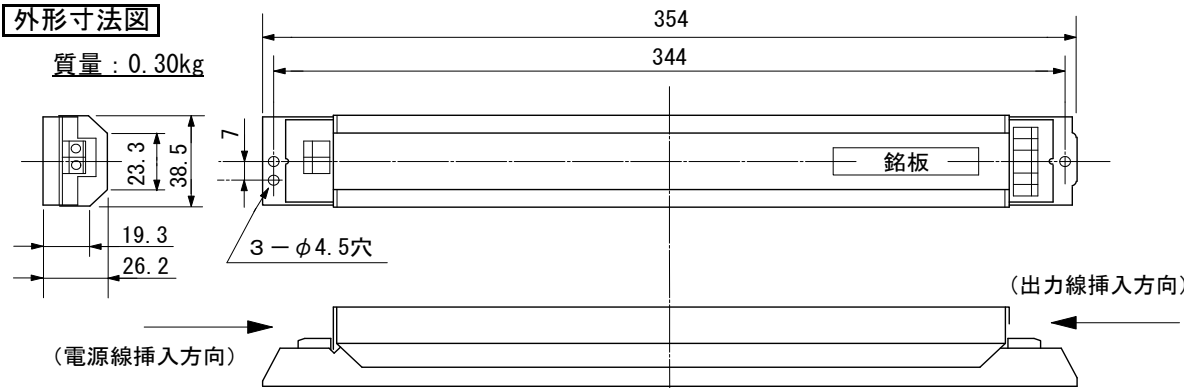
蛍光灯電子安定器 FHF32高出力(45W) 1灯用 AC100-254V 器具内用

注意事項

使用区分	器具内用（器具外での使用禁止） 屋内設置型器具用（屋外で使用する器具には使用できません） 日本国内用（日本国以外での使用は保証できません）		
使用環境条件	器具周囲温度、湿度 5°C~35°C、35%RH~80%RH 結露しないこと		
適合ランプ	FHF32	FL40S, FL40SS/37, FLR40S	FLR40S/36
定格入力電圧	100V~254V		
入力電圧範囲	94V~270V		
定格周波数	50/60Hz		
定格入力電流	0.495A~0.195A	0.444A~0.176A	0.409A~0.162A
定格入力電力	49W~47.5W	44W~43W	40.5W~39.5W
力率	高力率		
光出力係数	0.96（高出力45W比）	1.10	1.00
定格二次電流	0.370A	0.373A	0.375A
定格二次電圧	280V（無負荷、入力電圧254V時）		
二次短絡電流	0.400A		
入力突入電流	5A _{0-p} （4ms）		
絶縁階級	E種		
絶縁抵抗	充電部一括とケース間にて100MΩ以上（冷間）DC500Vメガー		
耐電圧	充電部一括とケース間にて電圧1600V、1分間（零電圧位相スタート）		
入力電流歪み	JIS C 61000-3-2 適合		
適用規格	電気用品の技術上の基準を定める省令別表第六		

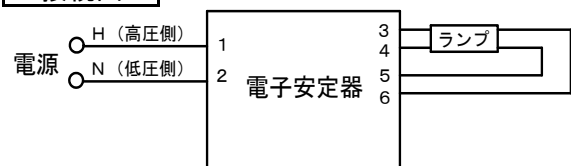
- 悪環境（腐食性ガスの発生する場所、塩水や油のかかる場所、粉塵の多い場所、引火する危険性のある場所、振動する場所等）では、使用しないで下さい。
- D種接地して使用して下さい。
- 器具組み込みでの雑音、漏洩電流、ランプ始動性能を充分確認して下さい。器具内配線の長さや配置等の影響を受けることがあります。
 - 電源線と出力線は離して下さい。
 - 一つの器具に複数の安定器を内蔵する場合、互いの安定器の出力線を離して下さい。
 - 出力線は極力短く配線して下さい。長いものでも器具の最大辺長以下として下さい。
 - 端子3、4に接続される出力線を短くして下さい。
 - 出力線はシールドしないで下さい。
- 器具組み込みで各部位の温度を充分確認して下さい。
- ランプ交換時や無負荷時等に、ランプピンやソケットに人体や器具板金が接触すると、感電や地絡を起こす可能性があります。器具構造により防止できるよう配慮して下さい。
 - 例）ランプの一方のピンがソケットに挿入された状態で、他方のピンが器具板金等に接触しないようにする。
- 押し当て式ランプソケットを使用する場合は、端子3、4側に固定ソケット、端子5、6側に可動ソケットを使用して下さい。
- 安定器のケースと器具板金に確実な電氣的導通が確保できるよう、安定器固定用ねじには歯つき座金を用いるなど、器具板金塗装を破る手段を施して下さい。
- 半導体部品を使用しておりますので、器具組立工程の静電気対策を充分施して下さい。
- 落下等により衝撃を受けた安定器は使用しないで下さい。
- 端子部に必要以上の力を加えないで下さい。また、口出し方向に配線を引っ張らないで下さい。
- 必ず適合ランプと組み合わせて使用して下さい。
- 安全のためランプ交換やお手入れは電源を切ってから行なって下さい。
- 無負荷状態やランプ寿命末期での通電放置や電源入切りは避けて下さい。故障、感電、地絡の原因となります。
- 寿命を迎えたランプが装着されていると点灯しません。
- 周囲温度が低い場合、点灯中に移動線が現れることがあります。
- この安定器の電源遮断後の電源端子間残留電圧は1分後45V以下です。

外形寸法図



参考用図面

接続図



電線接続上の注意点

接続方法	被覆剥き長さ	電線導体径	挿入力
速結	9.5±0.5mm	φ0.8及びφ1.0の単線 0.5mm ² 及び0.75mm ² のはんだ揚線 (はんだ仕上がり径φ1.4以下)	挿入方向に 10N以下

製品仕様図

型番		コード番号	
FIK10CMF032N-C30UD		06543269	
承認	査閲	作成	仕様書番号 MA-T2-69099 仕様書紙数 15 個別番号 3 付-1
高橋	福田	小林	
作成日		2010. 8. 16	
NECライティング株式会社			